

学年	高校 2 年	教科	数学科	科目	数学 B	単位数	3
教科書名		数学 B（数研出版）		副教材名	サクシート数学Ⅱ+B（数研出版）		
コース・クラス		選抜・N 進理系					

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力と態度を育てる。教科書問題に取り組むことで基本技能を確実に習得し、論理的な思考と問題解決の仕方を修得することを目指す。

II. 授業のねらい

- 1章 数 列 … 簡単な数列とその和及び、漸化式と数学的帰納法について理解させる。また、それらを用いて事象を数学的に考察させる。
- 2章 統計的な推測… 統計的な推測を行うための基礎となる確率分布について、基本的な概念や演算を理解させる。

III. 授業の進め方

- 教科書を中心に、授業を展開する。また、日本大学基礎学力到達度テストに向けて出題されている問題を中心に扱う。
- 單元ごとに小テスト実施し、定着の度合いを図る。
- 状況に応じて問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

- 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
- 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
- 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を中心に、幅広く出題する。また、模擬試験レベルの問題も出題する。

- 1学期 中間試験 : 数列
- 1学期 期末試験 : 数列・数学的帰納法
- 2学期 中間試験 : 確率分布
- 2学期 期末試験 : 確率分布・統計的な推測
- 3学期 学年末 : 数列・統計的な推測

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1 章 数列 1 節 数列とその和	定期試験 小テスト 提出物	・数列の意味と基本的な用語が理解できる。 ・等差数列の和や一般項が求められる。 ・等比数列の和や一般項が求められる。 ・和の記号Σを扱える。 ・階差数列から一般項が求められる。 ・群数列の第 n 群の総和が求められる。 ・基本的な漸化式が扱える。 ・数学的帰納法を理解して、等式や不等式の証明ができる。
	5			
	6	2 節 数学的帰納法		
	7			
二学期	9	2 章 統計的な推測 1 節 確率分布	定期試験 小テスト 提出物	・確率変数と確率分布が理解できる。 ・分散と標準偏差が求められる。 ・確率変数の和と期待値が理解できる。 ・独立な確率変数と期待値・分散が理解できる。 ・二項分布が理解できる。 ・正規分布が理解できる。
	10			
	11	2 節 統計的な推測		
	12			
三学期	1	数学 B 総復習 (基礎学力到達度テスト対策)	定期試験 小テスト 提出物	・数学 B 全範囲の基本問題が扱える。
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。